

HeartWarming SAGA

～人の想いに寄り添う施策～

「なかなか気づいてもらえないけど、こんな支援があったらいいな、助かるな。」

佐賀県は、そんな県民の皆さんの想いに寄り添いたいと思います。

そのために、皆さんの声を大切に、これまでの支援をもっと拡充しました。

国の制度や施策にないものは、佐賀県独自で新しく創りました。

その一部をご紹介します。

困っている、悩んでいる、多くの方々の元に、お届けしたいと思います。

佐賀県

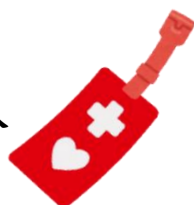


HeartWarming SAGA

～人の想いに寄り添う施策～

障 害

- ・軽度・中度難聴児補聴器購入支援
- ・命の72時間を守る非常用電源の購入支援
- ・ヘルプマークの導入と普及啓発
- ・医療的ケア児とそのご家族を支援 など



がん・難病等

- ・子宮頸がん撲滅のためのHPV検査無料化
- ・がん患者のアピアランスケアを支援
- ・小児がん等の患者とその家族の交通費を支援
- ・骨髄等移植の円滑な実現の支援 など



出産・子育て

- ・妊娠・出産・子育てをアプリで支援
- ・多胎家庭の困りごとに寄り添う支援
- ・新生児スクリーニング検査に県独自で2疾患を追加 など



さが現場の声と想いをつなぐ懇談会などで、医療・福祉分野の方々から現場の意見を聞いています

ひきこもりや若年性認知症など様々な困難を抱えている方の施策にも取り組んでいます

障 害

軽度・中度難聴児補聴器購入支援	・片耳難聴児や人工内耳装着児を含む全ての難聴児の補聴器購入費の助成
命の72時間を守る非常用電源の購入支援	・災害時に停電した場合、障害や慢性疾患などにより気管切開や人工呼吸器使用をしている方が、救助までの間の電源を確保できるよう、在宅生活者を対象に非常用電源の購入を支援
発達障害者への支援体制の充実	・「SKY～スカイ～」発達障害者就労支援センターの設置 ・発達障害のある子どもの成長を支援するためのペアレント・プログラムを開催
ヘルプマークの導入と普及啓発	・障害のある方が感じる様々な場面での不便や障壁の解消を図り、暮らしやすい社会づくりを促進するヘルプマークを導入
在宅での医療ケアを支援	・医療的ケア児等の在宅生活を支援 ・小児慢性特定疾病児童等介護者のレスパイト(休憩)訪問看護師の派遣
医療的ケア児とそのご家族を支援	・在宅で生活する医療的ケア児の保護者等が在宅生活における困りごとや悩みごとを相談できる専門窓口「佐賀県医療的ケア児支援センター」を開設
障害者手帳アプリによる県有施設等の割引	・一部県有施設窓口において、障害者手帳(紙・カード型)の提示と同様の減免等が受けられる障害者手帳アプリの導入

軽度・中度難聴児補聴器購入支援

問い合わせ先
障害福祉課

難聴で悩む子どもたちに補聴器購入費を
助成し言語習得や教育における
健全な発達を促進

片耳では、
先生の言葉
がよく聞き
取れないわ

補聴器がある
と先生の言葉
もよく聞こえて
学習がはかど
ります

H27～

「軽度・中度」の両耳難聴

R2～

- ・「片耳難聴」の子どもまで
対象を拡大
- ・「人工内耳体外機の更新費
用」、「FM補聴器の購入・
更新費用」を対象に追加



※FM補聴器
FMマイクから入る音を
電波にして、補聴器や
人工内耳体外機で受信
するシステム

18歳以下で補聴器等を装着している全ての子どもたちを支援

命の72時間を守る非常用電源の購入支援

問い合わせ先
障害福祉課、健康福祉政策課、こども家庭課

～生命維持のために自宅で
人工呼吸器等を使用している方の安全確保～

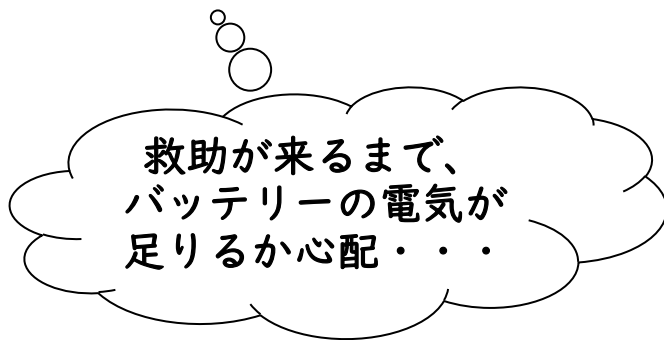
自宅で人工呼吸器を使用または気管切開により医療機器を
日常的に使用されている方の非常用電源の購入を支援



停電発生

24時間

72時間



なぜ72時間？

大災害の発生直後の3日間は
公的支援が届かないおそれあり

災害発生時から救助が
来るまでの間をつなぐ！

発達障害者への支援体制の充実

問い合わせ先
障害福祉課

対応の仕方を相談
したいけど、相談で
きるところが近くに
ない...



発達障害の専門相談窓口の充実

○東部発達障害者支援センター「結(ゆい)」【鳥栖市】

+

増設

○西部発達障害者支援センター
「蒼空(そら)」【多久市】(H29~)

○発達障害者就労支援センター
「SKY(スカイ)」【佐賀市】(H30~)

アドバイスがもらえて、適
切なところ
つないでもらった。



わが子の就労の相談
をしたいけど、どこへ
行けばいいの？



発達障害について学べる環境の充実

○ペアレント・プログラムの開催(R2~)

※各圏域の児童発達支援センターで開催

発達障害のことが
理解でき、子育てが
楽しくなった。



子育てに
自信が
持てない。



「ペアレント・プログラム」とは・・・

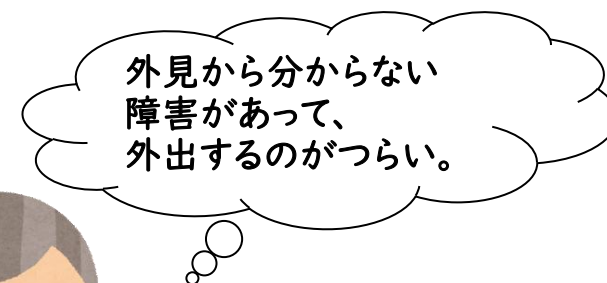
発達障害やその傾向にある子供をもつ保護者や、子育てに難しさを感じる保護者が、
子供の「行動」の客観的な理解の仕方を学び、楽しく子育てに臨む自信を身につけるこ
とを目的としたグループ・プログラム

ヘルプマークの導入と普及啓発

問い合わせ先
障害福祉課

ヘルプマークとは？

外見からは分からなくても
援助や配慮が必要な方が
周囲の人にそのことを知ら
せることで、援助を得やす
くするマーク



交付対象者

援助や配慮を必要としていることが外見から分かりにくい方

例：義足、人工関節を使用している方、
内部障害のある方、難病の方、
知的障害、精神障害、発達障害の方、
妊娠初期の方、認知症の方 等

交付窓口

県障害福祉課、各保健福祉事務所、
県難病相談支援センター、市町、JR佐賀駅



在宅での医療ケアを支援

問い合わせ先
こども家庭課・障害福祉課

人工呼吸器などの医療的ケアを必要とする子どもを
介護する家族のレスパイト(休息)を確保します



○訪問看護師の派遣

訪問看護師が家族の
代わりに自宅で見守り
とケアを行います



久しぶりにゆっ
くり休めたね!

手伝ってもらって
お出かけてきた
ね!!



○受け入れ体制の整備

受け入れ体制を整える短
期入所事業所等に対し、
体制整備費や機器購入
費等を補助します



医療的ケア児とそのご家族を支援

問い合わせ先
障害福祉課

～医療的ケア児とそのご家族にきめ細かいサポートを～

県

佐賀県医療的ケア児支援センター

- ✓ 専門性の高いスタッフによる相談対応
(看護師、医療的ケア児等コーディネーター等)
- ✓ 就園支援コーディネーターによる就園調整支援



LINE相談も

個別支援も含め
総合的に対応

災害への
備えが
不安

仕事と育児を
両立させたい

相談への助言、
勉強会等の開催

情報共有

様々な相談



医療的ケア児とその家族

支援

地域の支援の現場



障害者手帳アプリによる県有施設等の割引

問い合わせ先
障害福祉課

～スマートフォン向け障害者手帳アプリ「ミライロID」を導入しました!～

①スマートフォンに「ミライロID」をインストール



- ◎ アプリのインストール後、障害者手帳の登録が必要になります。
- ◎ 登録には紙またはカード型の障害者手帳が必要です。

利用可能県有施設は13カ所(令和5年3月末現在)
民間施設等でも利用できるところが増えてきています!
利用可能施設や受けられるサービスの詳細については、
ミライロID公式サイト(<https://mirairo-id.jp/>)をご覧ください。

②利用可能県有施設等の窓口で提示



- ◎ 「ミライロID」を起動して、アプリのホーム画面を窓口で提示することで、障害者手帳の提示と同様のサービスを受けることができます。
なお、これまで通り障害者手帳をお使いいただくこともできます。

がん・難病等

子宮頸がん撲滅のためのHPV併用検査無料化	・子宮頸がんのり患率が高い年齢層のHPV(ヒトパピローウイルス)の検査費用を助成
未来へ向けた胃がん対策を推進	・県内の全中学3年生を対象にピロリ菌検査を実施し、要治療の生徒の除菌治療費の自己負担分を助成
小児・AYA世代がん患者を支援	・小児・AYA世代がん患者へ妊孕性(にんようせい)温存治療費を助成 ・小児・AYA世代の末期がん患者へ在宅ケア費用を助成
がん患者のアピアランスケアを支援	・がん治療に伴う外見の変化に悩みを抱えるがん患者の心理的・経済的負担を軽減するため、医療用ウィッグ(かつら)や乳房補正具の購入費を補助
小児がん等の患者とその家族の交通費を支援	・やむなく遠方の医療機関での入院治療が必要な場合の患者とその家族の交通費を助成
骨髄等移植の円滑な実現の支援	・骨髄移植又は末梢血幹細胞移植で造血幹細胞の提供を行った方、またその方を雇用等する事業主に対して、提供に要した日数に応じて助成金を支給

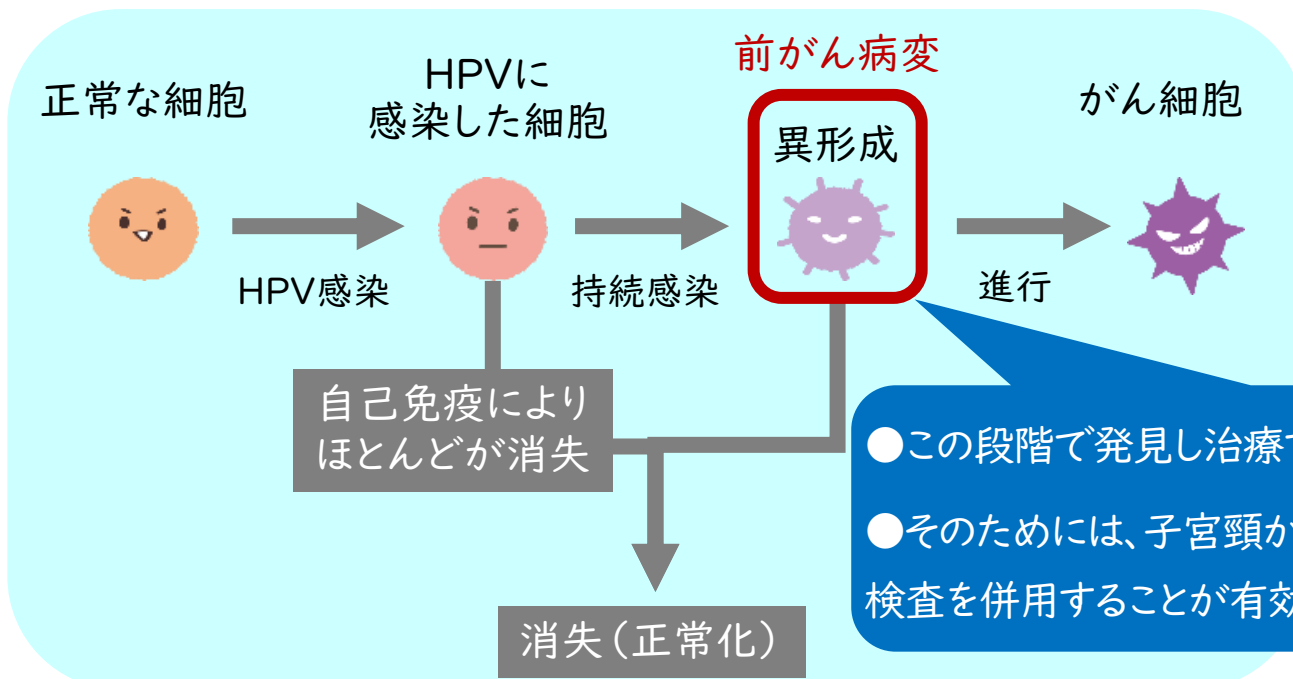
子宮頸がん撲滅のためのHPV検査無料化

問い合わせ先
がん撲滅特別対策室

～子宮がん死亡率ワーストからの脱却～

市町が実施する子宮頸がん検診において、子宮頸がんの罹患率が高い年齢層（30歳から44歳まで）のHPV併用検査費用を無料化

⇒全県下でHPV併用検査を無料化することにより
子宮頸がんの撲滅を図る



- この段階で発見し治療できれば、子宮の温存も可能
- そのためには、子宮頸がん検診(細胞診検査)にHPV検査を併用することが有効

ほっとかないで、
ほっとしよう。

女性のがん検診が、
とっても受けやすくなっています。

佐賀県は、女性のがん検診受診を推進しています。

未来へ向けた胃がん対策を推進

問い合わせ先
がん撲滅特別対策室

～佐賀の子どもたちの将来へのプレゼント～

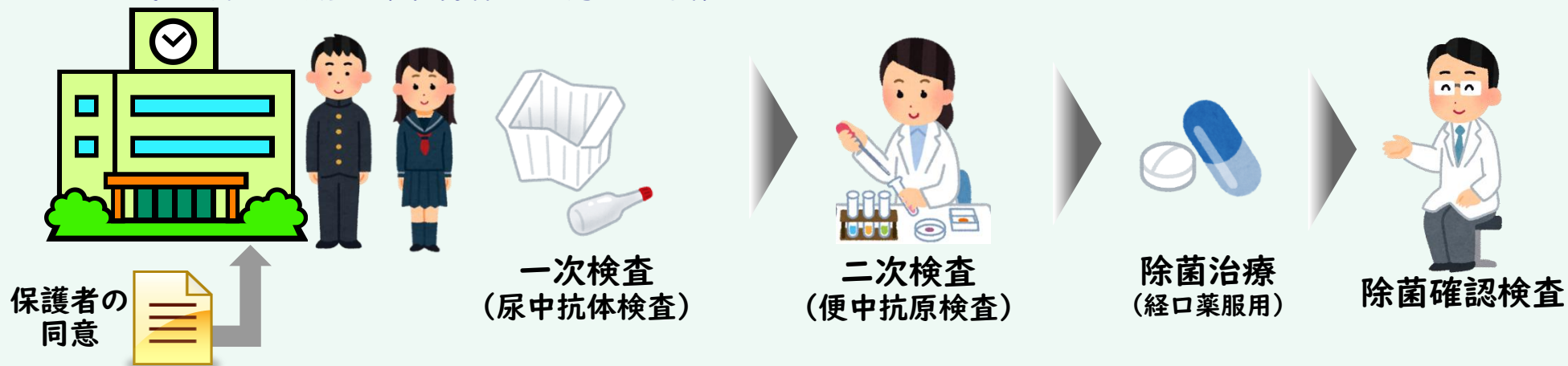
県内中学3年生全員を対象に、
胃がんの原因とされる
ピロリ菌の検査、除菌を
全額県の負担で実施

⇒将来の胃がんリスク低減へ



子どもたちの
将来の
胃がんリスクを
取り除きたい!

中学校の健康診断で行われる尿検査の
残りの尿を使って検査（保護者の同意が必要）



小児・AYA世代がん患者を支援

問い合わせ先
がん撲滅特別対策室

～若年がん患者に きめ細やかなサポートを～

妊孕性(にんようせい)温存治療費の助成

がん治療により失われる可能性のある妊娠する力を
事前に温存できるように支援

(初回の凍結保存時に43歳未満の方が対象)



がん治療で、
将来、赤ちゃんが産め
なくなりそうで不安…

在宅ケア費用の助成

既存制度の対象とならない40歳未満の小児・AYA
世代を支援

【在宅ケアに係る公的制度】 ~19歳|20歳~ ~39歳|40歳~

訪問介護	支援制度なし	介護保険
日常生活用具	小児慢性	

※ 支援制度なしは、**制度の狭間**



妊孕性温存治療が
あるから、
将来に希望が持てる!
頑張れる!

※AYA世代
(Adolescent and Young Adult)

がん患者のアピアランスケア※を支援

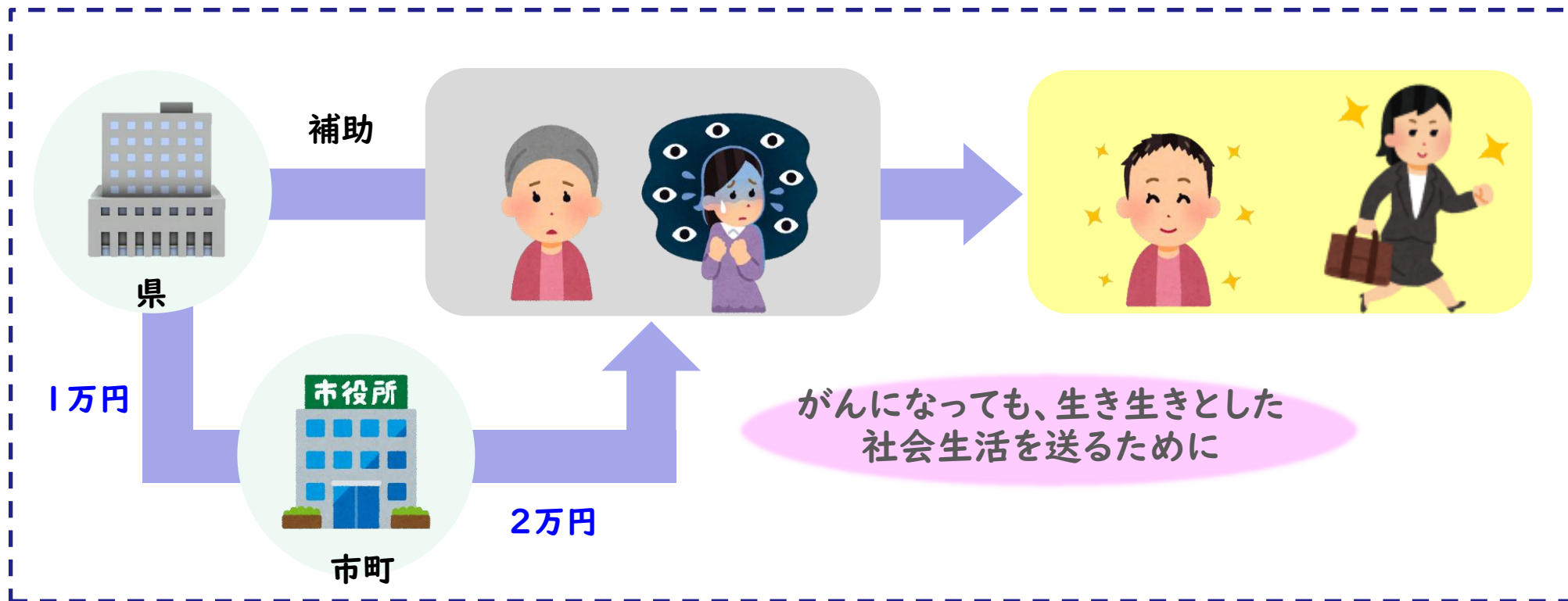
問い合わせ先
がん撲滅特別対策室

～がんになっても安心して暮らすことのできる環境づくりを推進～

がん治療に伴う外見の変化に悩みを抱えるがん患者の心理的・経済的負担を軽減するため、医療用ウィッグ(かつら)や乳房補正具の購入費を補助

※アピアランスケア

がん治療に伴う外見の変化に起因するがん患者の苦痛を軽減するケア。



小児がん等の患者とその家族の交通費を支援

問い合わせ先
がん撲滅特別対策室

～小児がん等を安心して治療できる環境を整備～

遠方での治療に伴う経済的負担

小児がん等の治療では・・・

やむなく遠方の医療機関での入院治療が必要な場合があり、
家族の付き添いを要することから、経済的負担が大きい

【小児がん患者家族の悩み】

医療費以外の
出費が多い

経済的にも
精神的にも大変！



補助対象者

小児がん、小児慢性特定疾病（難病）の
患者及び付き添う保護者、兄弟姉妹

対象地域

県外（隣県を除く）

治療を受ける小児がん等の患者と
その家族の交通費を助成

骨髄等移植の円滑な実現の支援

問い合わせ先
健康福祉政策課

～ドナーの経済的・精神的負担等を軽減し、骨髄等移植の早期実現へ～

造血幹細胞の提供者及び提供者を雇用等する事業主に対して、入院等提供に要した日数に応じて助成金を支給する



※骨髄等移植:血液の病気(白血病等)になった場合の治療法の一つで、正常な血液(血球)をつくる細胞を移植するための方法である骨髄移植及び末梢血幹細胞移植のこと。

出産・子育て

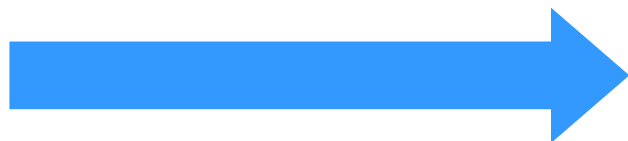
不育症治療支援	・不育症に関係する講演会や個別相談会を開催 ・検査や治療に必要な費用を助成
不妊治療支援事業	・不妊治療の保険適用化に伴い、治療費の一部助成
風しんの抗体検査・予防接種を無料化	・妊娠を希望される方などに、風しんの抗体検査や予防接種費用を無料化することで、先天性風しん症候群を予防し、安心して妊娠出産ができる環境を整備
多胎家庭の困りごとに寄り添う支援	・多胎妊産婦に妊娠から出産・育児まで切れ目のない支援 (多胎家庭等のサポート、ふたご・みつご子育て支援、子育て世代のパーキングパーミット支援)
安心して利用できる移動手段を整備	・「通学通院サポート」や「つわりサポート」など子育て世代が安心してタクシーを利用しやすい環境を県全域で整備
子どもの居場所づくりを支援	・子ども食堂の運営などを行うCSOを支援することで、子どもの居場所づくりを応援し、ひとり親家庭や経済的に困っている家庭を支援
子ども・若者の育成を支援	・子ども・若者が抱えるさまざまな困難の解決の糸口を一緒に探し、解決までの過程を一緒に見守る「佐賀県子ども・若者総合相談センター」の体制拡充
妊娠・出産・子育てをアプリで支援	・アプリ「mamari」を活用して、妊娠・出産・子育てについて切れ目のない相談支援を行う
新生児スクリーニング検査に県独自で2疾患を追加	・新生児スクリーニング検査に、佐賀県独自で2疾患追加し、公費助成を行い検査を受けられる環境を整備

不育症治療支援事業

問い合わせ先
こども家庭課

“子どもを持ちたいと望む方”にしっかり寄り添います

また流産してしまった。
私には、赤ちゃんはできないのかな・・・
もう、あきらめるしかないのかしら・・・

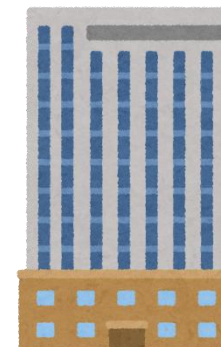


専門医の相談・講演会



pixta.jp - 25934483

受診（検査・治療）



助成金の申請・支払

検査・治療に係る医療費の助成を受けることにより

不育症スクリーニング
のための検査

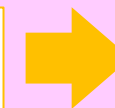


不育症の
原因究明



治療

カウンセリング
経過観察



出産

“子どもを持ちたいと望む方”にしっかり寄り添います

不妊治療は
経済的にも
精神的にも
つらいなあ

R4.4から

不妊治療の保険適用開始



希望する治療をより受けやすく

支援金の支給

専門医相談の充実
対面+(新)オンライン相談

風しんの抗体検査・予防接種を無料化

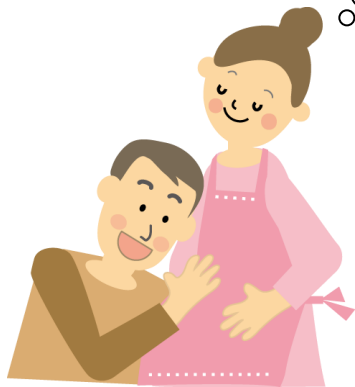
問い合わせ先
健康福祉政策課

～先天性風しん症候群の発生を予防し、安心して出産できる環境づくり～

妊娠を希望される方、風しん抗体価が低い妊婦の同居家族の方の風しん抗体検査・予防接種費用を無料化

妊娠初期に風しんにかかると生まれてくる赤ちゃんが「先天性風しん症候群」になる可能性があるんだ。心配だな・・・

風しんの発生を予防!!
先天性風しん症候群の発生を予防!!



風しんの抗体検査・予防接種



~~【有料】~~ → 【無料】



多胎家庭の困りごとに寄り添う支援



問い合わせ先
こども家庭課、社会福祉課

赤ちゃんが、
同時に泣きだして困る！
やることがいっぱい……



○多胎育児経験者 によるピアサポート

アドバイスが
もらえて
助かった！



○多胎家庭への ヘルパー派遣

手伝ってもらって、
お出かけてきた!!



民間団体と行政が連携した「アウトリーチ型の支援」

○子育てタクシーチケット を交付

・スムーズな外出を支援

○パーキングパーミットの 対象に

・子どもが1歳半になるまで

子育てし大県 “さが” タクシー

妊婦・子どもへのおもてなしの研修を受けたドライバーが運行する、子育て世代に優しいタクシー



- チャイルドシートや防水シートを用意
- 保育園や学校、塾などに子供を送迎後、保護者に 電話で報告

利用方法

登録

予約

配車

子ども利用コース

放課後児童クラブや塾、習い事への送迎など

妊婦利用コース

運転しづらい妊娠中の通院や陣痛時に対応

親子利用コース

親子での外出時に、重い荷物の持ち運びなどもサポート

子どもの居場所づくりを支援

問い合わせ先
こども家庭課

～ 居場所づくりの“志”と“寄り添いたい思い”をつなぐ ～

食材が足りない。
子ども食堂が
続けられるか心配…



自分で作った米や野菜
を提供したい

- マatching 支援
- 支援者開拓



- 相談支援

- 交流会の開催

- ポータルサイト
による情報発信



食材が集まったので、
安心して開催できた。

こども食堂

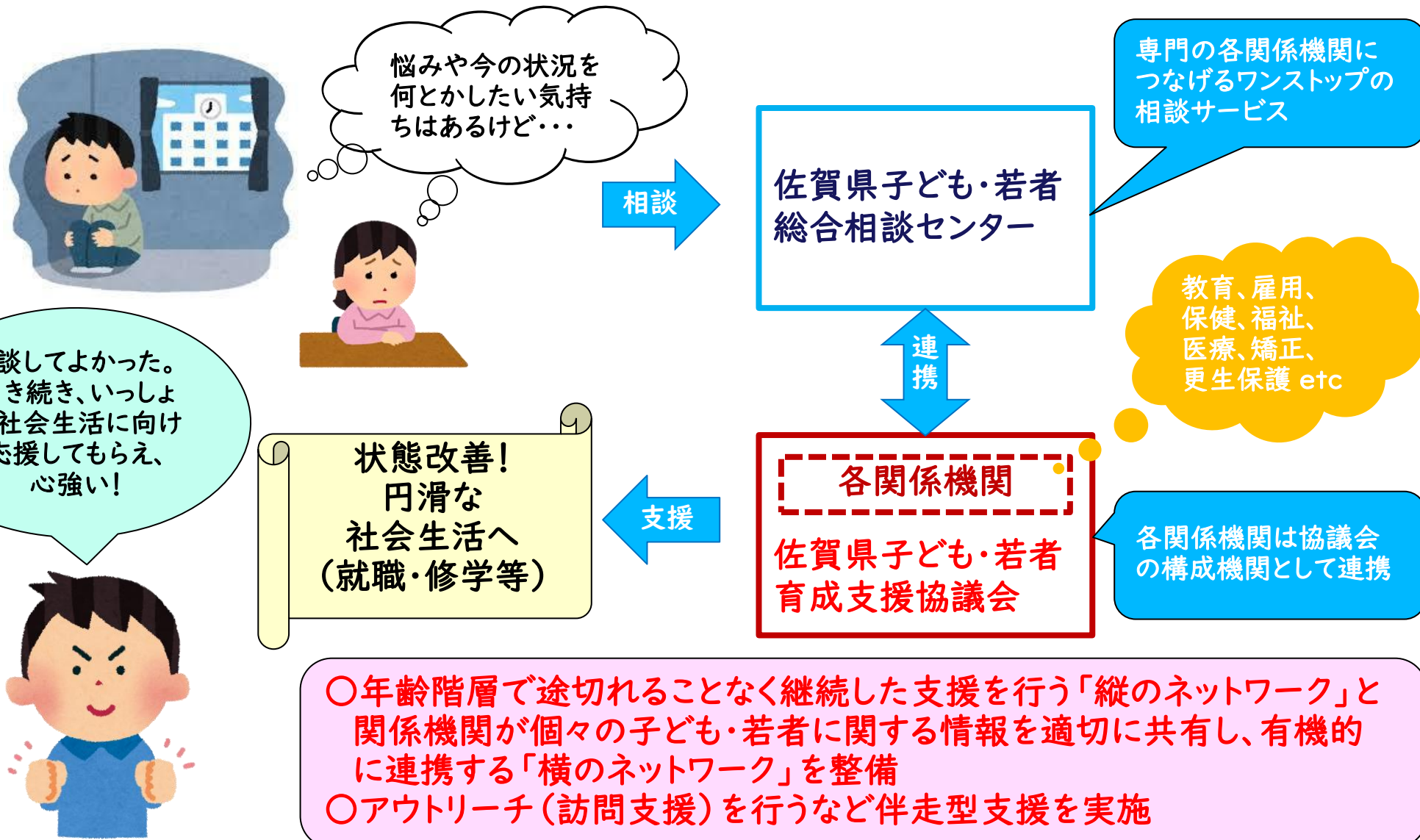


子ども達からお礼の
手紙をもらった。
役に立てて良かった!

※ 子どもの居場所とは、学習支援や食事、遊びの提供などを行う、子どもにとって身近で気軽に集える場

子ども・若者の育成を支援

問い合わせ先
こども未来課

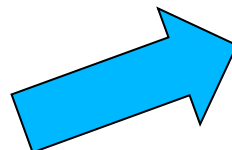


妊娠・出産・子育てをアプリで支援

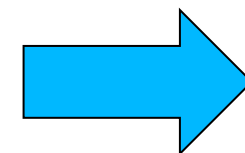
問い合わせ先
こども家庭課



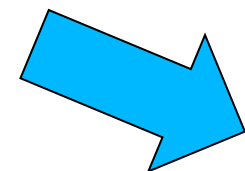
なんだか気が減入って、どうしたらいいのかわからない。誰に話したらいいんだろう。



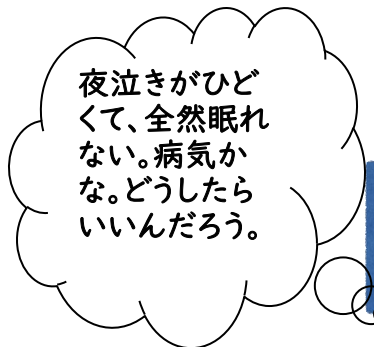
同じことで悩んでいる人がいる。私だけじゃないんだ。安心した。みんな優しく励ましてくれる。



出かけるのは難しいし、専門家にオンラインで相談できて助かった。専門的な助言を受けられて安心した。



身近な役場の保健師さんに相談できて、引き続き支援してくれて助かった。



夜泣きがひどくて、全然眠れない。病気かな。どうしたらいいんだろう。



アプリ「mamari」を活用して、妊娠・出産・子育てまで切れ目ない相談支援をしています

新生児スクリーニング検査に県独自で2疾患を追加

問い合わせ先
こども家庭課

現行の20疾患の検査に、検査方法・治療法が確立している希少難治性疾患を追加し、早期発見・早期治療により“救える命を救い”、子どもの健やかな成長を促す

生まれてすぐの
検査で病気がわ
かっていたら、治
療できたのに。



国の公費負担による
20疾患の検査に加え、
佐賀県では、SMA※1と
SCID※2の検査を受け
ることができます。

【無料】
(採血・検査)



(治療)



早く病気がわ
かって、治療し
たから、元気
になったよ



※1 SMA: 脊髄性筋萎縮症
※2 SCID: 重症複合免疫不全症

様々な困難を抱えている方

予防接種の再接種費用を助成	・子どもたちが十分な免疫を獲得し、感染症へのり患の心配なく生活できるよう造血細胞移植後の予防接種の再接種費用を助成
児童養護施設等を退所する子どもたちの巣立ち（自立）をサポート	・児童養護施設を退所する子どもなど、18歳に到達し措置を解除になる子どもたちを必要に応じて、それぞれの状況に合わせて引き続き支援を継続
ひきこもり地域支援センターの設置	・「さがすみらい」ひきこもり地域支援センターを設置し、全年齢層を対象にワンストップでの相談支援
若年性認知症の人・家族の安心につなげる支援	・支援センターを県在宅サポートセンターに開所し、若年性認知症に関する相談や医療・福祉・就労等を総合的に支援
児童思春期の精神科医療の充実	・児童思春期専門病棟における専門医による入院患者の緊急時対応および看護体制の充実

想いをつなぐ

さが現場の声を大切に、想いをつなぐ	・様々な困難を抱える県民一人ひとりが安心して暮らしていくために、広く現場の声や地域で眠っている声を聴く場を設置
-------------------	---

予防接種の再接種費用を助成

問い合わせ先
健康福祉政策課

造血細胞移植後の
予防接種の再接種費用



対象者全員、全額補助

免疫が無くなって、
これからの病気が
心配だけど...

再接種で免疫が
戻ったから安心!!

【無料】

(定期予防接種)

(小児がん等)

(造血細胞移植)

(再接種)



免疫獲得



免疫消失



免疫獲得



~~【有料】~~ → **【無料】**

児童養護施設等を退所する 子どもたちの巣立ち（自立）をサポート



問い合わせ先
こども家庭課

！ 支援者の顔が見える自立支援 ！



自立に関するセミナー

自立のために
何が必要か
わかりやすい！

この人なら
なんでも相談に
乗ってくれそう！



入所者等との交流

H30～

入所中から始める「つながる」自立支援の実施

！ 退所後に孤立させない ！



支援者の顔がわかる
から相談しやすい！

相談窓口（電話・面談）

気軽に立ち寄れる場所が
あるって、いいね！



集いの場

ひきこもり地域支援センターの設置

問い合わせ先
障害福祉課

ひきこもりの状態を何とかしたいけどどこに相談していいのか……

全年齢層対象。
状況に応じて適切な支援機関へつなぎます。

愛称“さがすみらい”

経験豊富なコーディネーターによる
アウトリーチ型の訪問・相談支援

就労や自立等、
心配事を聞いてもらえて少しホッとした

自宅に来て、相談にのってもらえるから心強い!!

若年性認知症の人・家族の安心につなげる支援

問い合わせ先
長寿社会課

若年性認知症

65歳未満で発症する認知症

家庭や社会で中心的な役割を果たしている世代のため、本人だけでなく、家族の生活にも影響

(本人)
仕事を続けることができるか心配…

(本人・家族)
どこの病院を受診したらいいのか分からない



(本人・家族)
子供の学費や住宅ローンはどうしよう…

(家族)
親の介護と重なると負担が大きい…

若年性認知症支援
コーディネーターに
ご相談ください

一人で悩まなくて
よかった!

佐賀県若年性認知症支援センター

電話番号：0952-37-8545

相談は無料です

相談時間：月曜日～金曜日 10時～16時（祝日・年末年始は除く）

相談方法：電話相談、来所相談、訪問相談

（来所相談・訪問相談は、事前にお電話にてご予約ください。）

※本人や家族だけでなく、医療福祉関係者や勤務先担当者の相談も可能です。



児童思春期の精神科医療の充実

問い合わせ先
障害福祉課

～こころの問題を抱える子どもの精神科医療体制を強化～

子どもたちの抱える
こころの問題

不登校

発達障害

インターネット・ゲーム依存

自殺(未遂)

摂食障害



重症化

早期入院治療ができれば、
重症化を防止できる可能性も…

児童思春期専門病棟
(肥前精神医療センター)

職員配置の少ない平日夜間および休日の
入院医療体制を強化

- 専門医による入院患者の緊急時
対応の体制充実
- 看護体制の充実



たくさんの人に支援
してもらいました!



早期入院治療により
重症化せずに短期間で退院

さが現場の声を大切に想いをつなぐ

問い合わせ先
健康福祉政策課

医療・福祉の第一線で活躍する方々の声を反映する 「さが現場の声と想いをつなぐ懇談会」

福祉の現場は、いろいろな課題を抱えているんだ…

私たちの想いを県政に反映できないかなぁ……

医療現場もそうだよ…



自宅で人工呼吸器を使用または気管切開により医療機器を日常的に使用されている方の非常用電源の購入を支援

人生の最終段階の医療・ケアを本人、家族、医療・ケアチームと事前に話し合うプロセスの普及・啓発

私たちの声が、形になって、みんなの役に立ってる……!!
よかった～～



現場の声と想いを
事業に反映

